



ふくろう通信

第46号
2017年 7月 1日
自然博物園 ねいの里

親子で道草 in ねいの里・新緑輝く初夏の章 「ネイチャーオリエンテーリング」

平成 29年 5月 21日



ねいの里自然塾の会が SAVEJAPAN プロジェクトの助成を受けて行った行事で、1月に行った「冬の章・冬の里山で遊ぼう」に続く第2弾です。今回はネイチャーオリエンテーリング。前回と同様、シェアリングネイチャー協会などの方に協力してもらいました。

最初は全員でマイクロハイクです。腹ばいになったり跪いたりして、筒型のルーペで地表をじっくり観察します。小さな虫が草をかき分けるように歩く様子は、まるでジャングルに分け入っていくように見えます。

普段の目線をちょっと変えてみると、まったく別の世界が見えてくるのが面白いですね。

オリエンテーリングの質問ポイントは7つ。

- ①炭焼き小屋で
(炭が使われなくなったのはなぜなのかなあ?)
- ②オオウラジロノキで
(木が大きくなるとトゲトゲはどうなるのお?)
- ③香りの小箱
(箱の中の香りのする植物はなあに?)
- ④ホクリクサンショウウオの産卵池で
(親はこの時期どこにいるのかなあ?)
- ⑤クマの展示場所で
(熊の赤ちゃんはいつ生まれるの?)
- ⑥自然の色を探す
(箱から引いた折り紙の色を自然の中で見つけよう)
- ⑦耳を澄まして
(どんな音が聞こえるのかな?)

(森のなかで耳を澄ますと…)



質問ポイント「香りの小箱」では、すぐに分かった親子と、なかなか分からない親子に分かれました。箱の中には**セリ**を入れたあつたのです。

セリ、ミツバ、ドクダミ… 実物と一緒に香りがかぐと違いがよくわかりますが、香りだけだとどれも同じように感じませんか？ 不思議ですねえ。

また、「耳を澄まして」では静かに聞こえる音を探しました。どんな音が聞こえたのでしょうか。

(この日は、ハルゼミの鳴き声、鳥の声、人の声、遠くの自動車の音などがよく聞こえていましたよ。)

「自然塾の会」では11月12日(日)にも「秋のネイチャーオリエンテーリング」を行います。そのときスタッフとして協力していただける会員の方を別紙のように募集します。よろしくお願いします。

「春の森でチャレンジ」心もお腹も春いっぱい

ナチュラリスト 杉本 好美

4月でも、少々肌寒い日の散策となりました。内容をよく知らずに参加したのですが、歩き始めるとすぐにたんぽぽの味見となり、子供たちの「美味しい」の声につられて食べてみると…

えぐいし、苦ィー。騙されました(T_T)

次に、大きなタラの木の前で木を体で表現するネイチャーゲームです。初めはみんな恥ずかしがっていましたが、それぞれに思いを形にして表現をしていました。私は、手を大きく広げ片足も一生懸命上げ、口を大きく開け精一杯の笑顔で春を迎えたタラの芽を表現してみました。途中、ワラビを発見するも、子供たちに先を越され全くとれず・・・それならと、高い所のコシアブラを傘で枝を引き寄せて一芽頂く（大人げない？でも、もちろん次の芽は残しましたヨ）。よく似た芽にウルシがあるので要注意と教えて頂きました。

水辺に着くとやわらかくて美味しそうなセリがいっぱい。メダカも泳いでいて春を満喫です。坂道を上がって行く時、大きくて立派なミツバを道路脇で発見。良い香りに食欲が刺激されます。

散策の後は、さあお楽しみのお昼時間です。メニューは、ワラビの昆布あえ・ノビルの餃子・ヨモギパン・フキノトウの生ハム巻、その他採取してきたカラスのエンドウ・タラの芽・コシアブラ・カタクリ・ミツバ等をしゃぶしゃぶにしたり、お浸しにしたり素材の味を確かめながら味わいました。

春いっぱい・お腹もいっぱいの大満足の1日でした。



「早朝バードウォッチング」に参加して

ジュニアナチュラリスト 屋敷 陽



(サンショウクイ)

を探すというのも楽しい体験だった。今度ぜひキビタキの姿を見て見たいと思う。またバードウォッチングに参加したい。

ねいの里では4月下旬頃から毎日のようにサンショウクイが鳴いていましたヨ。飛んでいる姿もよく見かけました。しかし、なかなか写真を撮らせてくれませんでした。この日は木に止まっている所を間近に見ることができ、写真も取れてラッキーでした。

早朝のバードウォッチングは初めての試みでした。野鳥は明け方から早朝にかけてよく鳴くので、今後も続けていきたいと思っている企画です。

バードウォッチングに初めて参加した。双眼鏡を使って、鳥の鳴き声だけでなく姿も見る事が出来たのがとてもおもしろかった。どの鳥もきれいな模様や色をしていてわくわくした。職員の方に鳴き声の特徴や聞きなしを教わり、何度も聞いているとだんだん聞きわけができるようになった。鳴き声でどの鳥かわかるととても嬉しい。また、個体によって鳴き方が少しずつ違っていることにも気づけた。

私が印象に残っている鳥は、サンショウクイだ。「ピリリ、ピリリ」と鳴きながら飛んでいるのが何度も観察でき、なかなか見られないという姿も見ることができた。私の家の周りにはいない鳥だ。

この日は木の葉が茂っていて鳴き声だけ聞こえて姿は見えないという鳥も多かったが、鳴き声に耳を澄ませて鳥



活動のふりかえり

生き物調査隊

「春の自然ふれあい隊」

平成29年4月30日(日)

生き物調査隊「春の自然とふれあい隊」を行いました。自然塾の会の里山ハイキングを兼ね鶯谷周辺の散です。水の張られた田んぼでは蛙の歌声がしています。畑に捨てられて転がっているカブもきれいに花を咲かせていて、生命力の強さを感じさせます。キンポウゲの咲き誇る畦道を通って高台へ。ねいの里では少なくなったスマイレの群落がきれいでした。

(カエルの歌声を聴きながら…)



(キンポウゲの畦道を通って…)



「愛鳥週間・探鳥の日」

平成29年5月14日(日)

(見つめる先にあるのは…)



野鳥の園(古洞の森)で行う愛鳥週間恒例の探鳥会です。

今回も、どんぐり橋で引き返すのんびりグループと、どんぐり橋を超えてショートコースを1周しハイキングも楽しむグループに分かれて行いました。

確認できた野鳥は、さえずりも姿もきれいなキビタキ、おなじみのシジュウカラやヤマガラ、ホジロなど24種類でした。鳴き声で種類が分かるようになると、もっと楽しくなるでしょうね。



(カワウの繁殖地が)

「竹細工づくりとハイケボタル観賞」

平成29年6月17日(土)、24日(土)

竹細工づくりはいつも人気があります。普段はノコギリなど持たないので、大人でも上手に使う人は少ないようです。子供たちにはこんな機会を利用して、上手に使えるようになってほしいですね。



今回、バイオリンのミニコンサートも行いました。ホタルの解説が始まる前に、みなさんに聞き覚えのありそうなメロディーを奏でました。また、ホタル観賞をしているバックグラウンドにも静かなメロディーが流れ、風情が感じられたのではないかと思います。

ねいの里 これからの行事案内

● 7月26日(水)、27日(木)「夏休み自由研究支援教室」

9:30 ~ 15:30 集合場所:ねいの里

定員:26日、27日それぞれ5名

対象:小学生(3年生以上)~中学生

「自由研究」のテーマに困っている方、研究の進め方やまとめ方がよくわからない方にアドバイスをします。



● 7月29日(土) 生き物調査隊「トンボの調査と標本づくり隊」

9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里 定員:20組

対象:小学生~中学生

(ジュニアナチュラリスト主体に一般も募集します。)

ねいの里のトンボの調査と標本作りをします。



● 8月26日(土)「夜の昆虫大探検」

17:00 ~ 20:00 集合場所:ねいの里

対象:一般

竹の工作と鳴く虫の観察を行います。

また、ライトトラップに集まる虫の観察も行います。



● 9月10日(日)「有峰の自然を探る・アサギマダラ調査」

8:00 ~ 17:00 集合場所:富山教育文化会館前、
富山駅北口、アルペン村

対象:ジュニアナチュラリスト

有峰の自然観察とアサギマダラのマーキングを行います。



● 10月1日(日)「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」

10:00 ~ 12:00 集合場所:ねいの里

対象:一般

園内で採取したキノコを講師が鑑定します。また、キノコ鍋の試食もあります。要予約:300食(200円/1食)



〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉

■ 企画展

7月 1日 ~ 8月 3日 富山県自然保護協会環境写真展

7月 15日 ~ 8月 21日 県内のカブト・クワガタ展

8月 4日 ~ 8月 20日 環境月間ポスター展

8月 23日 ~ 9月 24日 秋の鳴く虫展

9月 6日 ~ 11月 23日 キノコ写真展

○ 会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel 076-469-5252 /メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>